いっちん子ども自然塾　　8月度活動報告

活動の目的　　農作業歳時記に従って、子どもたちに年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさを味わい、自然環境の大切さを学習してもらう。

1. 開催日時　2023年8月 6日（日） 10時～14時15分　 晴
2. 参加人数　参加者　16名　（欠席4名）　　参加スタッフ10名
3. 行事内容　1　畑ツアー、ソバの播種、トウモロコシの収穫
　　2　田んぼの学習；害虫の学習、ザリガニ釣りと処分
　　3　森の学習；森の材料でクラフト

4. スケジュールと活動概要

10:00-10:15	挨拶、前月の復習、今日のスケジュール説明と注意事項
10:15-11:00	畑ツアー、キュウリ・オクラ他の収穫、休憩後ソバの種子播き
11:10-12:00	田んぼの害虫の話、ザリガニ釣り=釣果ナシ
12:00-13:00	**手洗い後昼食、自由時間**
13:00-14:10	ピロティにて森のクラフト体験（台紙に竹でイヌとネコ、花。作品は持ち帰り）
14:10-14;15	今日の振り返り、次回のお知らせ

5. 活動補足と所見

・時々は曇り空だったが、概ね晴にて暑い一日だった。
・収穫野菜は、キュウリ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・シシトウ・トマト・ツルクビカボチャと多彩だった。
・ソバのタネ播きは。畝幅がが広く（5条）子供の手では中央部まで届かず、播き難そうだった。
（その後、双葉状態では空白域が見受けられたが、2週間後の段階ではほぼ播き忘れがなく
すべての条に隙間なく苗が出そろって、赤い茎をのばしていた。）
・ザリガニは、当日朝に奥池にもんどりを仕掛けて捕まえた者だったが、食いつきが悪く、子ども達の熱意にも拘わらず、今年は1匹も釣れなかった。気温が高いこともあり、ザリガニは、草陰や水路の土から出てこなかった。釣り上げる途中に、逃げられたケースもあり、残念な結果に終わった。
エサの選択や、奥池での捕獲方法など工夫の余地があるかもしれない？
・「（条件付き）特定外来生物」に該当するので、ザリガニは、すべて回収し殺処分した、
・クラフトは、竹を使ってイヌとネコと花をハガキ大の台板にデザインした。
細かな部材もあり、自由度も高かったので難しく、みんな結構悩んで時間をかけて取り組んだ、

6. 活動風景

トマトの収穫

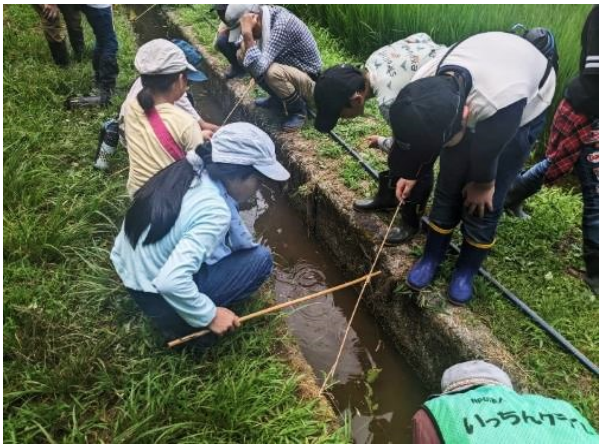
ゴーヤの収穫

ソバの種まき

ソバの種まき

ザリガニ釣り

ザリガニ釣り

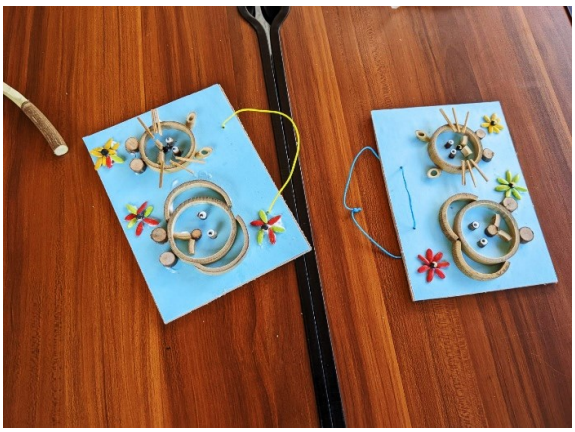


「ザリガニいないなあ」

「手でつかまえる方が簡単？」

森のクラフト

森のクラフト

森のクラフト

森のクラフト